

最近の管内経済概況

(2021年5月の経済指標を中心として)

～ 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、
一部に持ち直しの動きがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、緩やかに持ち直している。
- 個人消費は、持ち直しの動きに弱さがみられる。
- 観光は、低迷している。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年7月12日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2021年7月現在)

発表月	2021年2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	
生産活動	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	<u>緩やかに持ち直している</u>	緩やかに持ち直している	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
観光	<u>悪化しつつある</u>	<u>悪化している</u>	悪化している	<u>一部に下げ止まりの兆しがみられる</u>	一部に下げ止まりの兆しがみられる	低迷している	
公共工事	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	減少している	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	増加している	
住宅建設	下げ止まりの動きがみられる	<u>持ち直しの兆しがみられる</u>	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	
民間設備投資	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

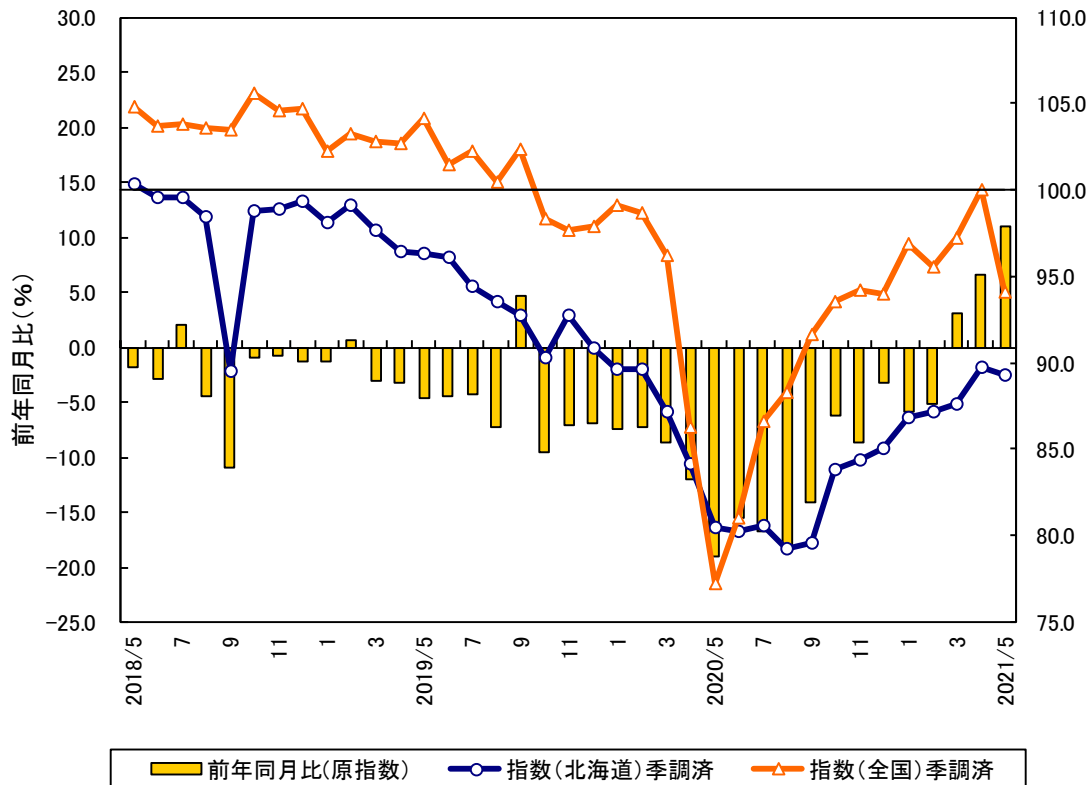
上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 緩やかに持ち直している ～

5月の鉱工業生産は、前月比▲0.4%と9か月ぶりに低下した。低下業種は、輸送機械工業など8業種となった。上昇業種は、鉄鋼業など7業種となった。

< 5月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	89.3 (前月比▲ 0.4%)
全国 (速報)	94.1 (前月比▲ 5.9%)

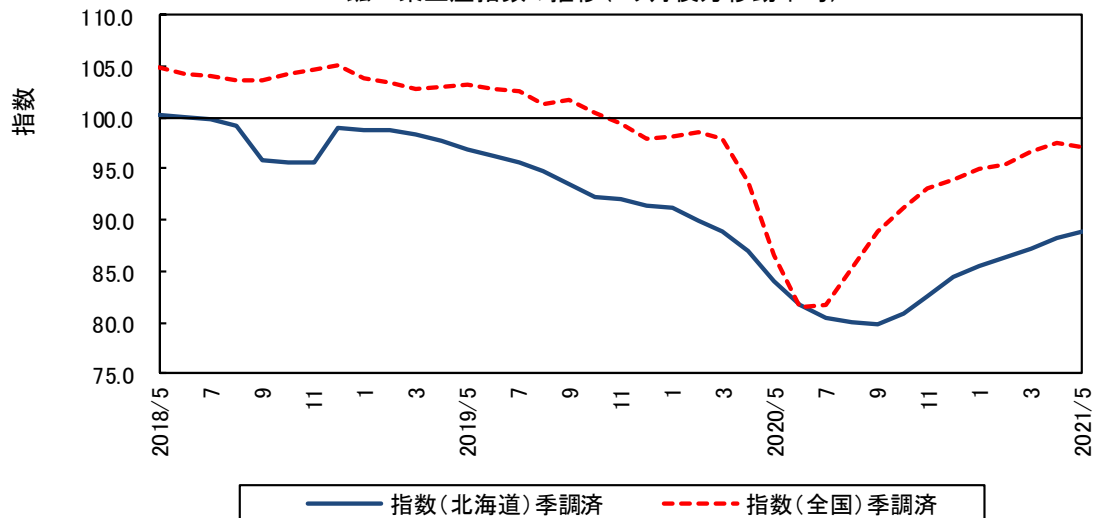
鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



【ヒアリング内容】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、民需向け工事の工期が遅れ、受注量が伸び悩んでおり、鉄骨の生産が減少した。(金属製品工業)
- ・外出自粛やテレワークにより外食向けの需要が減ったため、冷凍水産物の生産が減少した。(食料品工業)
- ・鋼半製品は、自動車産業向けが好調なため、ほぼフル生産が続いている。(鉄鋼業)
- ・一部製品で予定より受注が少なかったために調整を行い、自動車部品の生産が減少した。6月以降は、好調に推移する見込み。(輸送機械工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



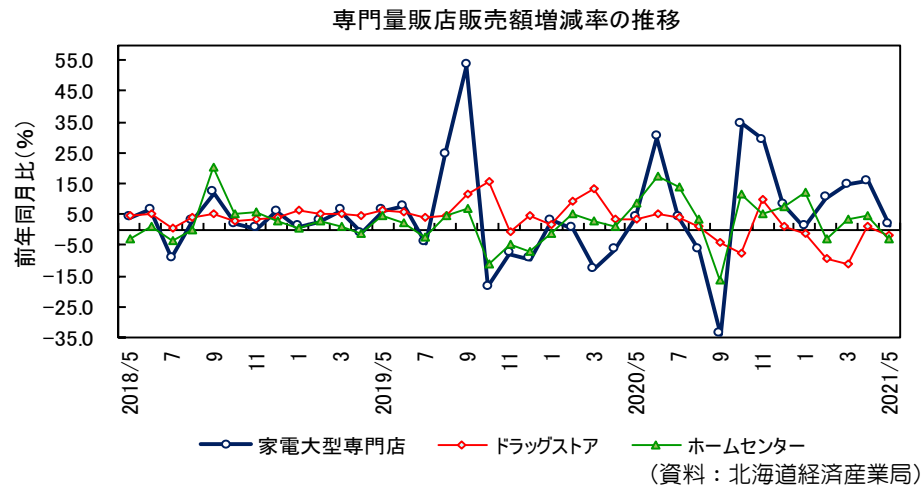
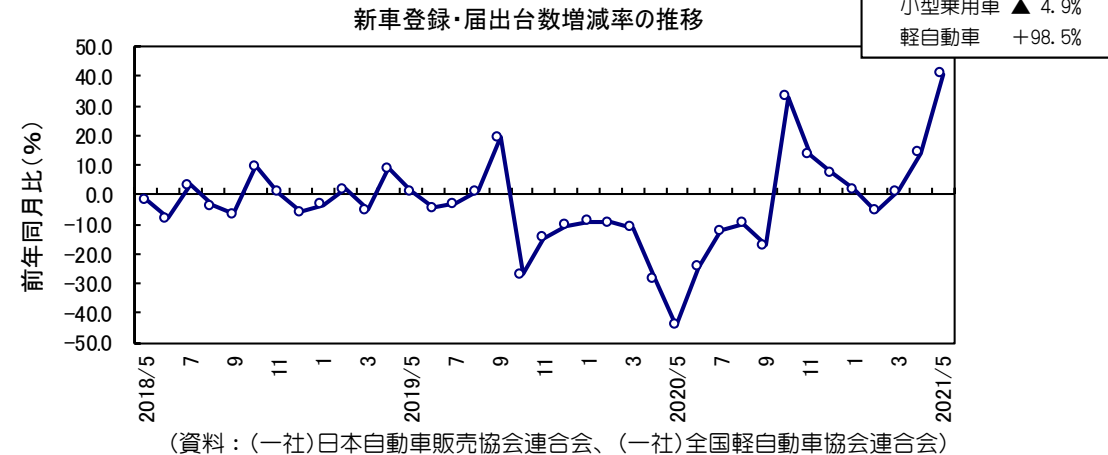
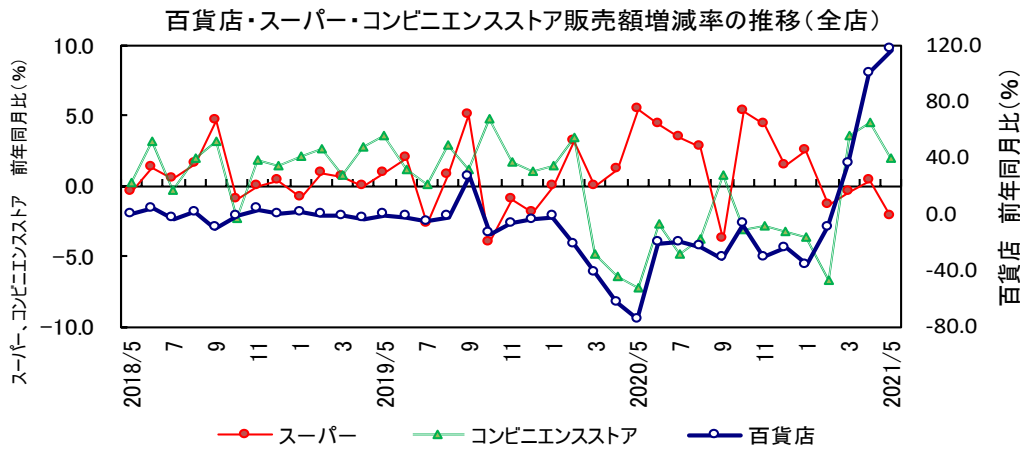
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

5月の個人消費は、スーパー、ドラッグストア及びホームセンターが前年を下回ったものの、他の業態は前年を上回った。

※前々年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、前年同月に臨時休業などがあったことの反動増などにより、前年同月比+116.3%（前々年同月比▲45.9%）と3か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、前年同月に飲食料品の需要が大幅に増加した反動減により、同▲2.2%（同+3.1%）と2か月ぶりに前年を下回った。
- コンビニエンスストアは、同+1.9%（同▲5.4%）と3か月連続で前年を上回った。
- 家電販売は、同+1.4%（同+5.2%）と8か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同▲2.0%（同+1.3%）と2か月ぶりに前年を下回った。ホームセンターは、同▲3.2%（同+4.8%）と3か月ぶりに前年を下回った。
- 新車販売は、同+41.0%（同▲21.2%）と3か月連続で前年を上回った。



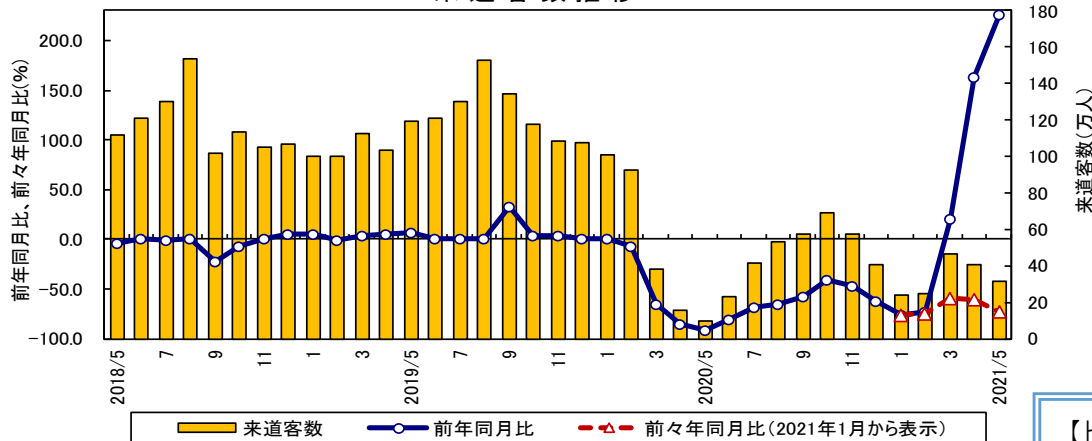
【ヒアリング内容】

- 前年の臨時休業による反動で大きく伸びたものの、本年も緊急事態宣言により、後半から土日休業を実施したため、全体として伸び悩んだ。（百貨店）
- 前年に大幅に伸びた反動で減少したものの、飲食料品を中心に比較的堅調だった。また、緊急事態宣言以降、酒類の売上が順調に推移している。（スーパー）
- 都市部などでは人の流れが戻ってきているものの、観光地の売上は回復までには至っていない。（コンビニエンスストア）
- スマートフォンは、新料金プランの導入や5G対応機種投入などにより、前年に比べて大幅なプラスとなった。（家電大型専門店）
- マスクなどが前年に大きく伸びた反動で売上を落としている。酒類は、緊急事態宣言以降も堅調に売れている。（ドラッグストア）
- D I Yや園芸需要が前年に大幅に伸びた反動で減少したものの、引き続きお客様の関心が高く、需要は底堅い。（ホームセンター）

観光 ～ 低迷している ～

5月の来道客数は、前年同月比+225.4%（前々年同月比▲73.6%）と3か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、0人で前年同月と同数となった。

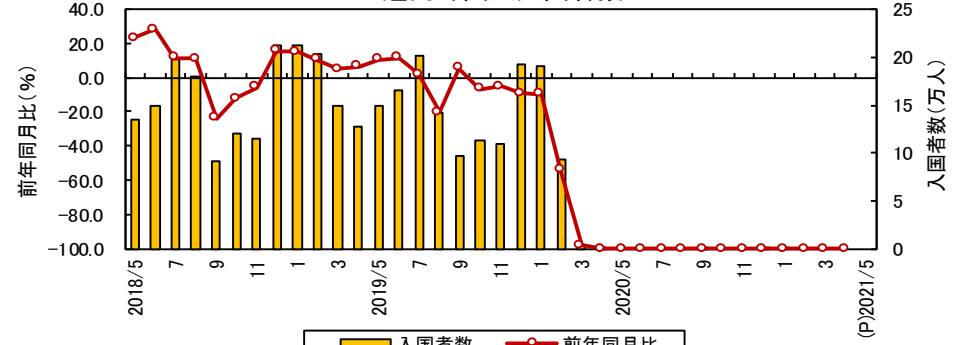
来道客数推移



<5月> 来道客数 315,981人 (+225.4%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

道内外国人入国者数



(資料：法務省)

注) (P)は速報値

<5月>
 入国者数 0人(-%)

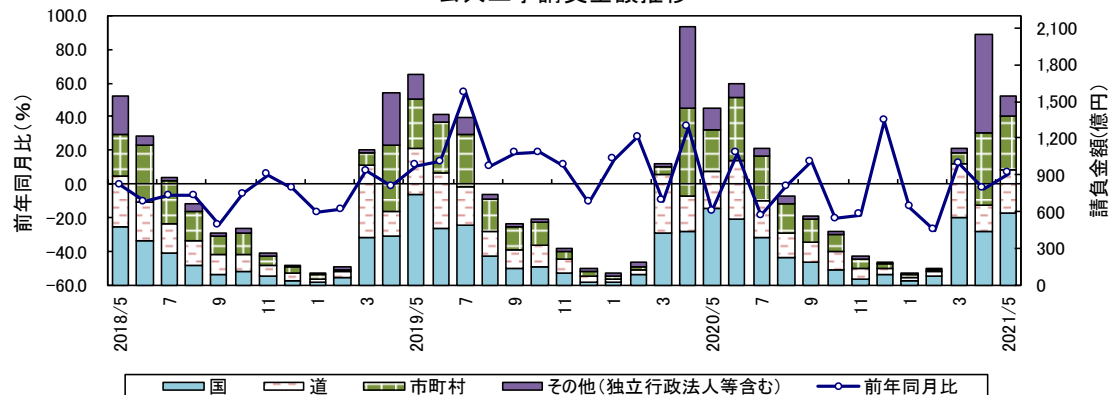
【ヒアリング内容】

- 5月は、GWはそれなりに観光客の姿があったが、緊急事態宣言以降は宿泊施設の大半が休館となり、観光客の姿は見られなくなった。修学旅行のキャンセルも相次ぎ、宿泊者数は例年の2割程度という状況。緊急事態宣言終了後は、施設の稼働状況などの問い合わせが来ている。（関係機関）

公共工事 ～ 増加している ～

5月の公共工事請負金額は、国は前年を下回ったが、道、市町村が前年を上回り、前年同月比+6.2%と2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額推移



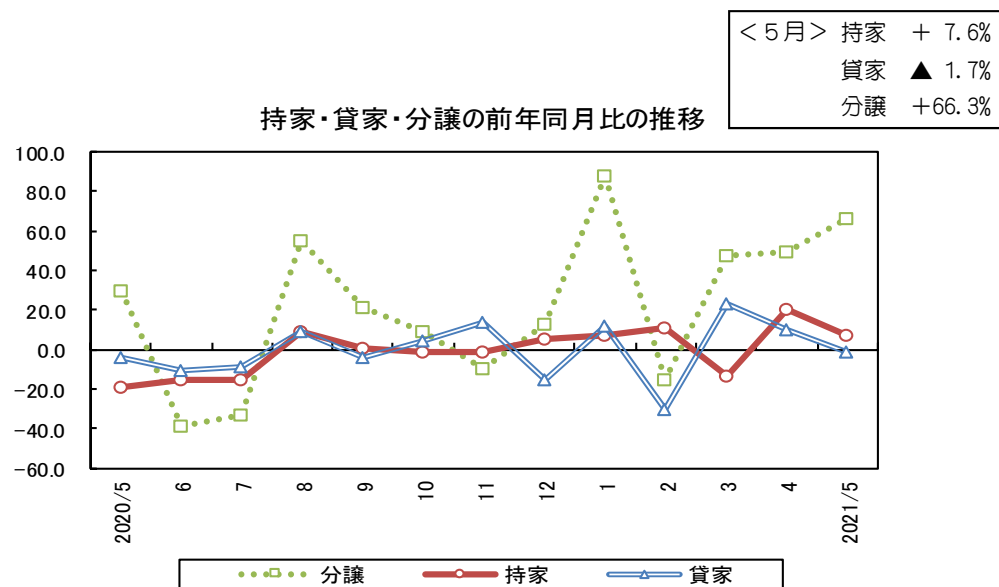
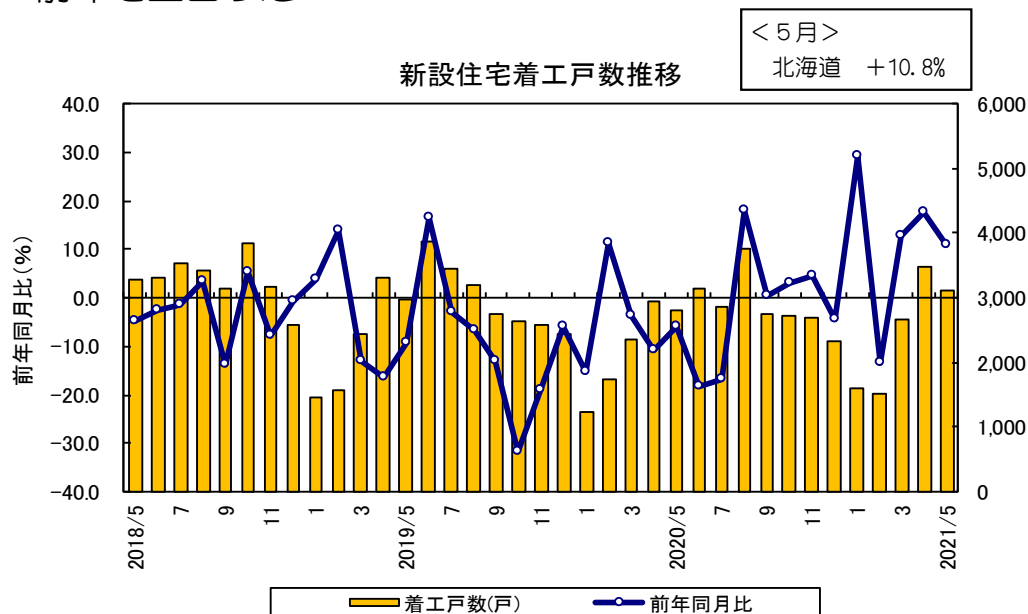
<5月>
 北海道 +6.2%
 (内訳)
 国 ▲5.8% 道 +14.8% 市町村 +30.8% その他 ▲11.7%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

5月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を下回ったが、持家、分譲が前年を上回り、前年同月比+10.8%と3か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比+4.6%と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年7月1日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 19.9%	+ 4.6%
製造業	▲ 4.0%	▲ 21.8%
非製造業	▲ 27.5%	+ 21.5%
全国	▲ 8.5%	+ 7.1%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年6月11日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	+ 0.7%
製造業	▲ 17.7%	▲ 22.8%
非製造業	▲ 2.9%	+ 11.5%

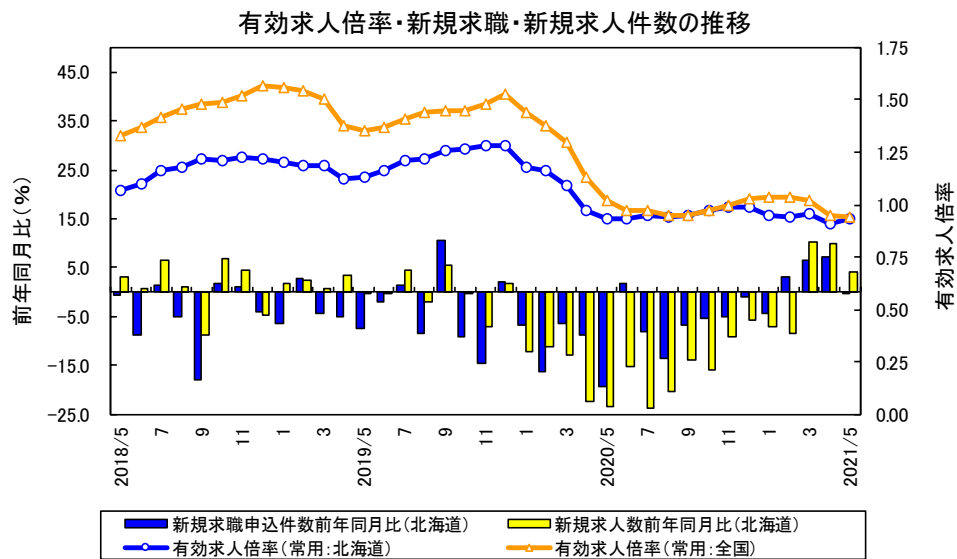
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

5月の有効求人倍率は、0.93倍と前年同月と同水準となった。

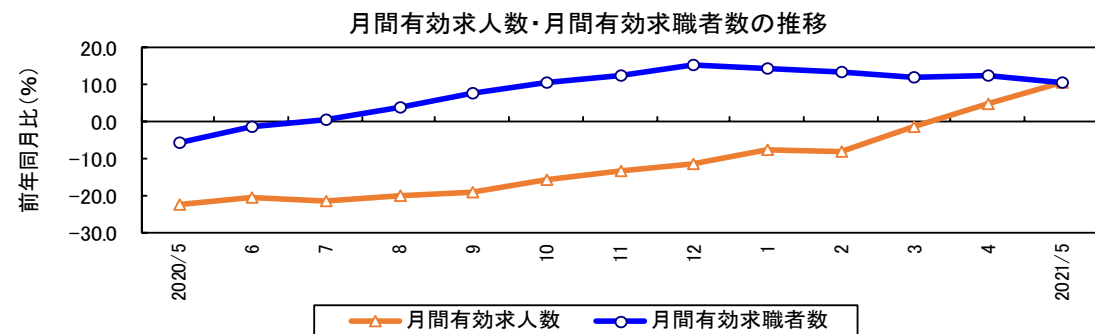


< 5月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.93倍
	新規求人人数(前年同月比)	+ 4.2%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 0.4%
全国	有効求人倍率(常用)	0.94倍

< 5月 >

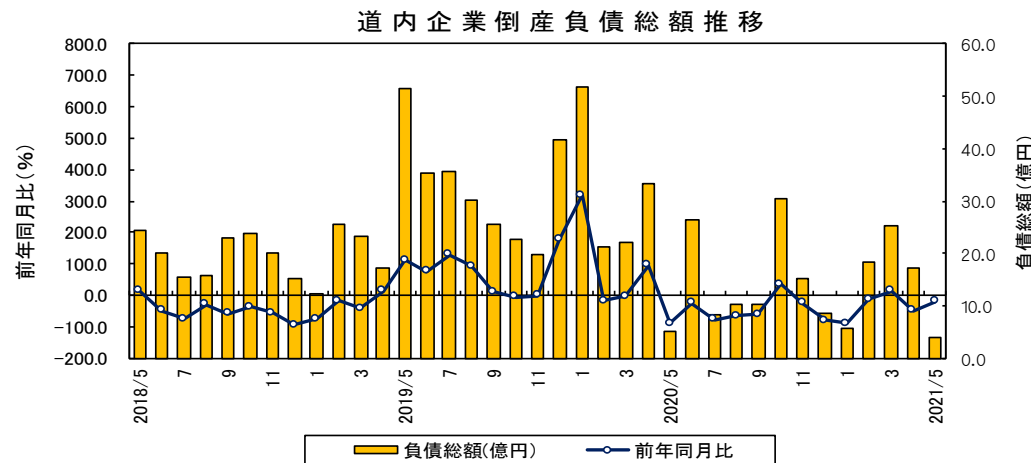
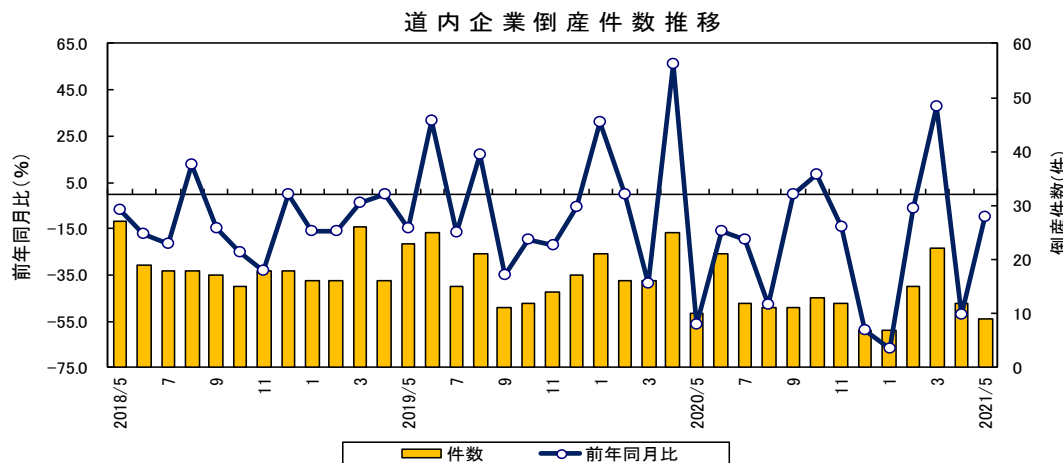
月間有効求人人数	(前年同月比)	+10.7%
月間有効求職者数	(前年同月比)	+10.4%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

5月の倒産件数は9件で前年同月比▲10.0%（1件減）、また、負債総額は4.0億円で同▲20.6%と、いずれも2か月連続で前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)